

# 平成31年度 学校自己評価システムシート（県立岩槻高等学校）

目指す学校像	確かな学力・規律ある生活態度・国際感覚を身につけた生徒を育成し、一人一人の進路希望を実現する、地域に愛される学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 一人一人を生かす学びの定着（学力の向上を目指して）</li> <li>2 進路指導の充実（夢の実現を目指して）</li> <li>3 生徒指導の充実と人権教育の推進（豊かな心の育成を目指して）</li> <li>4 国際理解教育の推進（国際社会で活躍する生徒の育成を目指して）</li> <li>5 保護者・地域との連携（信頼される学校を目指して）</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年度評価（月 日 現在）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	<p><b>【現状】</b> 生徒は落ち着いた態度で授業に臨んでいる。始業前の朝学習の取り組みは、各学年での指導が浸透し良好である。</p> <p><b>【課題】</b> 受動的な姿勢の生徒がまだ多く、主体的に学習に取り組む姿勢を育成する。生徒の意欲を引き出す授業力向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組む生徒を育成する。新教育課程の編成を年度末までに確立する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①定期考査や小テスト、朝学習や週末課題に意欲的に取り組み、学習成績の向上を図る。</li> <li>②学習リサーチの結果などを活用し、生徒の学習意欲の向上に努める。</li> <li>③授業の公開や見学、Webを利用した授業研究システムや各種研修を活用し教員の授業力向上を図る。</li> <li>④新教育課程の編成までに教科会や委員会、企画委員会や職員会議で十分な検討を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①成績優良者数の増加と成績不振者数の減少が図れたか(昨年度比)。</li> <li>②基礎学力テスト、模試などの成績の向上が見られたか(通年)。</li> <li>③教員相互の授業見学シートが活用されたか、Web 授業研究システムや各種研修の利用率は高かったか(授業公開期間、通年)。</li> <li>④新教育課程の骨子は編成できたか(年度末)。</li> </ol>		
2	<p><b>【現状】</b> キャリア教育の視点に立った指導計画を実施している。将来を見据えて進路選択をする意識が希薄な生徒もあり、地道な学習活動に不足が見られる。</p> <p><b>【課題】</b> 各進路行事・獨協大学との連携などの経験を通じて進路意識の向上を図り、意欲的に進路実現を目指す生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の視線に立ち、進路実現に向けて意欲的に学習に取り組む生徒を育成する指導を行う。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ガイダンスや講演会、模擬授業や面談などの進路行事を通じて進路意識の向上を図る。</li> <li>②ICTを利用した外部情報を活用し、生徒一人一人に応じた進路指導を行う。</li> <li>③時間の有効利用を指導し、授業以外の学習場面への生徒の積極的な参加を促す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①進路行事を有効かつ計画に従い実施できたか(通年)。3年生の進路決定率の向上したか(昨年度比)。</li> <li>②クラウドサービスを活用する校内組織は効果的に運営できたか。ポートフォリオ作成に向けた指導が実施できたか(通年)。</li> <li>③進学講習の参加者、模擬試験・各技能検定・センター試験の受験者は増加したか(昨年度比)。</li> </ol>		
3	<p><b>【現状】</b> 基本的生活習慣の乱れも少なく、生徒は落ち着いて生活している。学校全体での整容指導も行き届き、生徒の規範意識も定着してきている。</p> <p><b>【課題】</b> 学年差のない統一感のある指導をさらに進める。登下校のマナーの向上を図り、悩みを抱える生徒への対応を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の規範意識を定着させ、社会の中の一員としての意識を持たせる指導を行う。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①学校全体で統一感のある指導を徹底し、基本的生活習慣・規範意識の定着を図る指導を実施する。</li> <li>②登校指導(毎日)と交通安全指導を実施し、登下校のマナー向上と交通事故を防止する。</li> <li>③集会等を活用しトラブル防止の啓発を図る。悩みを抱える生徒への教育相談・生徒指導体制を充実させる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①計画的・継続的に整容指導が実施できたか(毎日・通年)。指導内容の統一が図れるように教職員間で確認ができたか(通年)。</li> <li>②登下校のマナーに関する苦情や重大な交通事故はなかったか(通年)。自転車交通安全指導は計画的に実施できたか(各学期)。</li> <li>③生徒指導(特にSNSに関するトラブル)件数は減少したか。不登校や転退学者数は減少したか(昨年度比)。</li> </ol>		
4	<p><b>【現状】</b> 海外授業体験学習などの行事も定着し、国際理解教育をさらに進める意識が醸成されつつある。</p> <p><b>【課題】</b> 各種取組の効果を学校全体へ広げる検討を行う。効果的な情報発信を研究し、国際交流や国際理解に対応した高い学力を身につけた生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で国際理解教育を進める取組を行う。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①海外に関する派遣や受け入れを積極的に進行。</li> <li>②国際理解教育に関する特色ある行事を充実させる。</li> <li>③国際理解教育の取組を情報発信する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①海外授業体験学習の参加者は増加したか(昨年度比)。留学に関する広報や応募、受け入れに積極的に応じたか(通年)。</li> <li>②講演会や国際文化科の行事は効果的かつ計画通りに実施できたか。行事の効果について検証は行われたか(通年)。</li> <li>③学校ホームページ・リーフレットの活用は有効だったか(通年)。</li> </ol>		
5	<p><b>【現状】</b> 部活動による発表会や小高交流事業の実施、地域行事への参加など、可能な範囲で積極的に地域交流を行っている。</p> <p><b>【課題】</b> 学校教育活動の内容をさらに情報発信し、ボランティア活動に参加可能な生徒数の拡大を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の情報発信を進め、保護者や地域住民の理解を深め、地域貢献を通じて生徒の学びを豊かにする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ボランティア活動や地域主催行事、交流事業などに参加し、生徒・教職員と地域住民等との交流を促進する。</li> <li>②学校ホームページによる情報発信を進め、PTA組織や地域と連携して教育活動の充実を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①恒例の行事(岩槻祭り(8月)、地域防災訓練(9月、3月)、区内3小学校との交流(9月)、部活動によるイベント参加)など、積極的にボランティア活動等に参加したか(通年)。</li> <li>②学校ホームページによる情報発信の更新は随時行われたか(通年)。</li> </ol>		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	